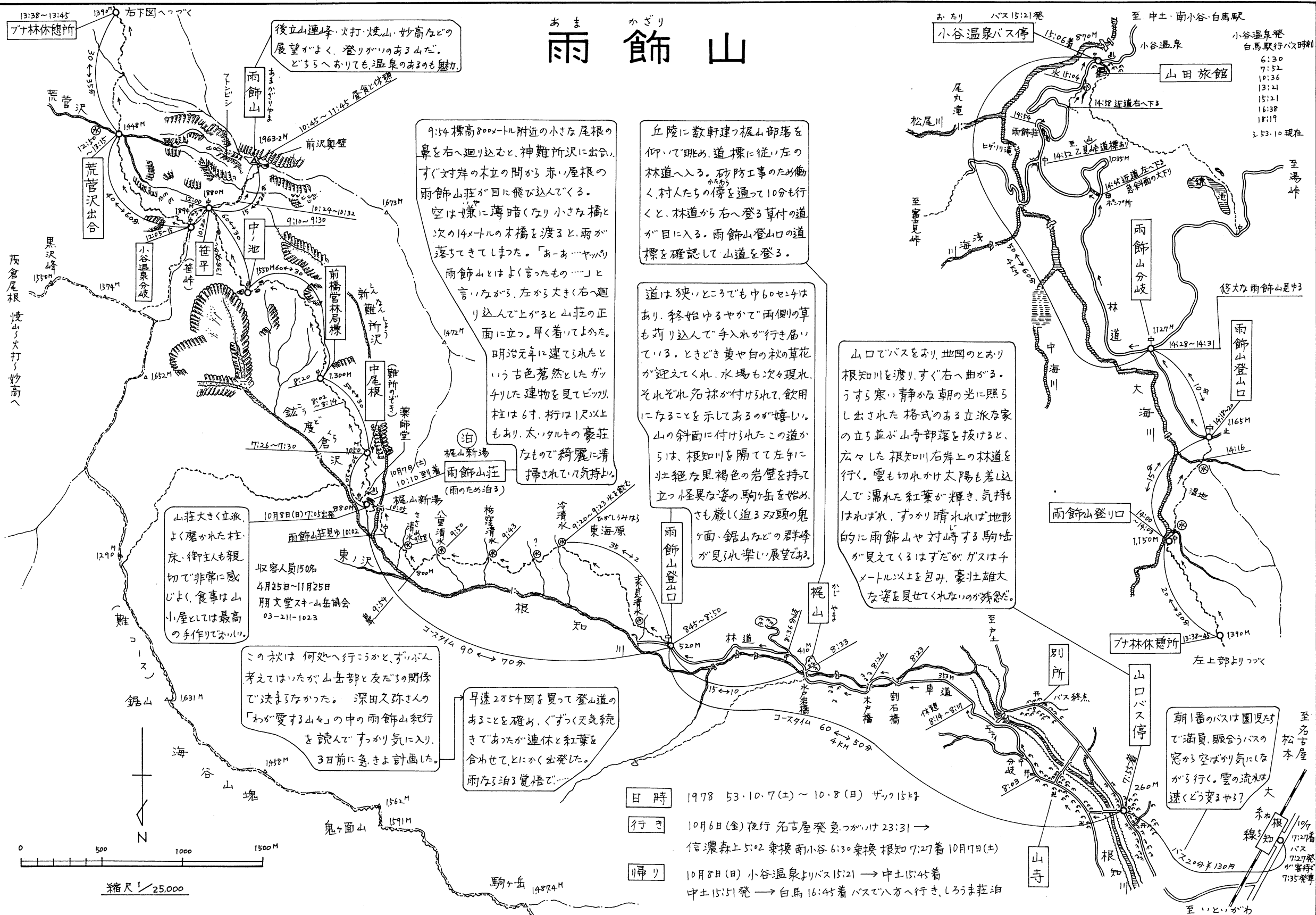


あま かざり 雨 飾 山



後立山連峰・火打・焼山・妙高などの
展望がよく、登りがいい山だ。
どちらへあっても温泉のお宝も魅力。

9:54 標高800メートル附近の小さな屋根の
鼻を右へ回り込むと、神難所沢に出る。
すぐ対岸の木立の間から 赤い屋根の
雨飾山荘が目に飛び込んでくる。
空は嫌に薄暗くなり小さな橋と
次の14メートルの木橋を渡ると、雨が
落ちてきてしまった。「あーあ……ヤッパ
雨飾山とはよく言ったもの……」と
言いつながら、左から大きく右へ廻
り込んで上がると山荘の正面に立つ。早く着いてよかった。
明治元年に建てられたと
いう古色蒼然としたガッ
チリした建物をみてビックリ。
柱は6寸。杉は1尺以上
もあり、太い丸木の豪荘
なもので、綺麗に清
掃されて、気持ちよ

丘陵に数軒建つ根山部落を
仰いで眺め、道標に従って左の
林道へ入る。砂防工事のため傾
く、村人たちの像を通って10分も行
くと、林道から右へ登る草付の道
が目に入る。雨飾山登山口の道
標を確認して山道を登る。

道は狭いところでも中60センチは
あり、冬始まるやから「両側の草
も葎り込んで手入れが行き届い
ている。ときどき黄や白の秋の草花
が迎えてくれ、水場も次々現れ、
それぞれ名称が付けられて、飲用
になることを示しているのが嬉しい。
山の斜面に付けられたこの道か
らは、根知川を隔てて左手に
立っ小異な姿の駒ヶ岳を始め、
さも厳しく迫る双頭の鬼
ヶ面、鋸山などの群峰
が見え、水景も展望できる。

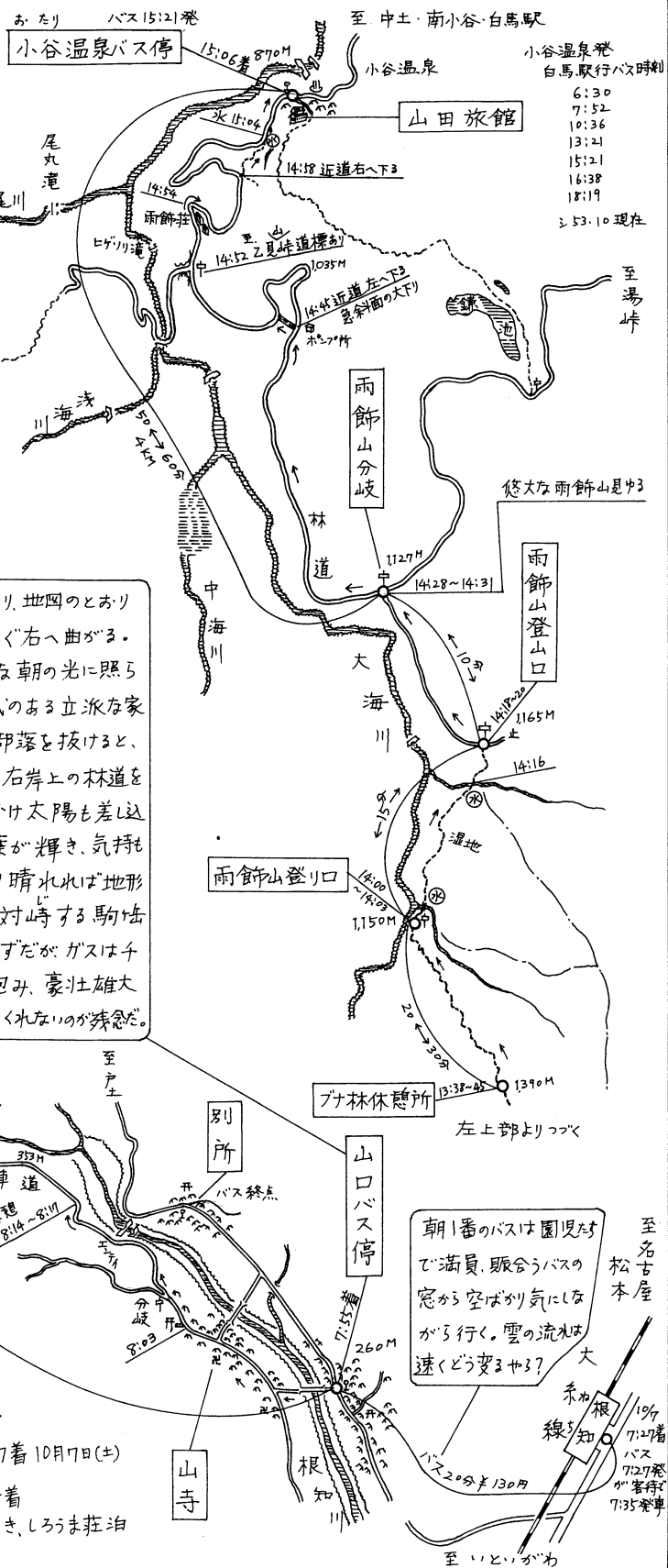
山口でバスをおり、地図のとおり
根知川を渡り、すぐ右へ曲がる。
うすうす寒い、静かな朝の光に照ら
し出された 格式のある立派な家
の立ち並ぶ山寺部落を抜けると、
広々した根知川右岸上の林道を
行く。雪も切れかけ太陽も差し込
んで濡れた紅葉が輝き、気持ち
はれはれ、すっかり晴れれば地形
的に雨飾山や対峙する駒ヶ岳
が見えてくるはずだが、ガスは4
メートル以上を包み、豪壮雄大
な姿を見せてくれないのが残念だ。

山荘大きく立派、
よく磨かれた柱、
床、御主人も親
切で「非常に感
じよく、食事は山
小屋としては最高
の手作りでおいしい。

この秋は 何処へ行くかとずいぶん
考えてはいたが、山岳部と友だちの関係
で決まらなかった。 深田久弥さんの
「わが愛する山々」の中の雨飾山紀行
を読んで、すっかり気に入り、
3日前に急きよ計画した。

早速2854円を買って登山道
のあることを確かめ、ぐずぐず天気続
きで「あつたが連休と紅葉を
合わせて、とにかく出発した。
雨なら泊る覚悟で……

日時 1978 53.10.7(土)～10.8(日) ザック15kg
行き 10月6日(金)夜行 名古屋発 急つかいけ 23:31 →
信濃森上 5:02 乗換 南小谷 6:30 乗換 根知 7:27 着 10月7日(土)
帰り 10月8日(日) 小谷温泉よりバス 15:21 → 中土 15:45 着
中土 15:51 発 → 白馬 16:45 着 バスで八方へ行き、しろま荘泊



小谷温泉発
白馬駅行バス時刻
6:30
7:52
10:36
13:21
15:21
16:38
18:19
53.10 現在

悠久な雨飾山見ゆ

雨飾山登山口

雨飾山登山口

雨飾山登山口

雨飾山登山口

雨飾山登山口

雨飾山登山口

雨飾山登山口

雨飾山登山口

雨飾山登山口

雨飾山登山口

雨飾山登山口

雨飾山登山口

雨飾山登山口

(根知駅は、糸魚川の二ツ手前)

奥村光信